

何ができるようになるか

○各教科等で育成する資質・能力

- 【知識・技能】基本的・基礎的な知識・技能を持って物事にあたることができる。
- 【学びに向かう人間性】豊かな心やチャレンジ精神を持って学びに向かうことができる。
- 【思考・判断力・表現力】論理的に考え、表現することができる。

何が身に付いたか

○各教科等の学習評価

- 【知識・技能】基本的・基礎的な知識・技能が身に付いている。
- 【学びに向かう人間性】豊かな心やチャレンジ精神が身に付いている。
- 【思考・判断力・表現力】論理的に考え、表現する力が身に付いている。

子供たちの実態

- ・基礎学力の必要性を理解していない生徒がいる。
- ・自己肯定感の低い生徒がいる。
- ・目標設定を上手くできない生徒がいる。

子供たちの発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- ・高校生活を記録するポートフォリオの作成
- ・組織的な対応（情報共有と共通理解）
- ・SC や SSW など外部機関との連携
- ・サイ発見とシン発見準備講座で進路活動

目指す子供たちの姿

- ・基礎学力の必要性を理解し、主体的に学ぶ意欲を身に付けた生徒
- ・自分を見つめ直し、自己肯定感を身に付けた生徒
- ・進路目標を設定し、努力する力を身に付けた生徒

何を学ぶか

○各教科等の教育課程の編成

- ・基礎基本の定着（地歴，公民，数学，音楽，家庭）
- ・基礎学力の向上と定着（国語，理科，外国語）
- ・基礎基本技能の定着（保体，情報，機械）
- ・興味関心の向上（美術）
- ・座学と実習との連携（情報技術）
- ・コミュニケーション能力の育成（商業）
- ・学び直しと基礎学力の定着（サイ発見）
- ・自己肯定感の育成（シン発見準備講座）

どのように学ぶか

○各教科等の授業の実施

- ・ペア学習とグループ学習
- ・事前学習と振り返り学習
- ・習熟度別学習
- ・T・Tを取り入れた、個に応じたきめ細かな指導

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・校内研修の充実
- ・チーム対応
- ・外部機関との連携
- ・家庭や中学校との連携
- ・生徒の状況の把握

各教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成

- ・地域の産業や文化等への理解を深め、地域を愛し、地域の発展に貢献できる資質・能力を育成する。